
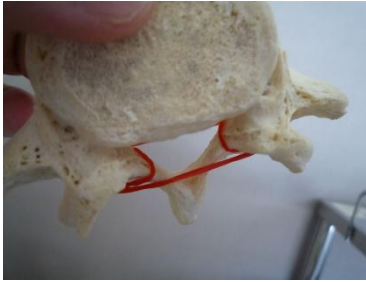


視覚障害に応じた教材・教具

教科名	教材・教具名	対象児童生徒の状態
教科・領域 (運動病態学) その他 ()	脊椎分離症模型・輪ゴム で示す椎弓分離部	(理療) 部 (全盲) ・ (弱視)
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・分離症の分離部の説明は長く、脊椎の解剖を十分理解していない生徒ではイメージが難しい。模型で分離症の分離部を指しても、生徒の指でなぞらせて説明しても、模型が小さく、分かりにくい。更に生徒が多い場合、それぞれに対応すると時間がかかる。そのため、分離部に輪ゴムを巻いただけの模型を生徒数分準備して、各自全盲生は触感で、弱視生は見て触ってイメージをつけることで理解を促す。 	
制 作 方 法	<ul style="list-style-type: none"> (1) 材料 ・脊椎模型、輪ゴム (2) 制作のポイント・工夫点 ・輪ゴムは骨模型の色よりコントラストが強いと良い。 ・脊柱管側からも触れるようにするには、脊柱管に輪ゴムを通してから棘突起と下関節突起とに同時に輪ゴムをかける。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	
使 い 方	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数分の模型を配り、説明し、椎弓と突起と分離部を触らせる。 ・質問や生徒に説明させたりしてイメージができているかを確認する。 	
改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> ・椎骨模型は小さいため、腰椎の大きさを考慮して生徒に渡す。 ・輪ゴムは色の工夫と太さの工夫をする。 	